

【技術の名称】 ネジコン定着工法 ーねじ節鉄筋を用いた機械式定着工法ー	性能証明番号：GBRC 性能証明 第 03-13 号 性能証明発効日：2004 年 1 月 13 日 【取得者】 株式会社神戸製鋼所
--	--

【技術の概要】

本技術は、JIS G 3112 の異形棒鋼の規定に適合するねじ節鉄筋「ネジコン」を使用し、雌ねじを有するネジコン定着金物を、このねじ節鉄筋の先端部に結合することにより、異形鉄筋をコンクリート部材に機械的に定着する技術である。鉄筋と定着金物の間に生じるがたは、エポキシ樹脂または無機グラウト材を充填する方法でなくしている。

【技術開発の趣旨】

従来の折り曲げフックを用いた鉄筋の定着工法では、鉄筋の高強度化や太径化により曲げ加工が困難であったり、定着長さが長くなったりする問題が生じる。本技術は、そのような問題を解消し、配筋施工の合理化を図ることを意図して開発したものである。

【性能証明の内容】

本技術についての性能証明の内容は、以下の通りである。

申込者が提案する「ネジコン定着工法」に用いるネジコン定着金物は、異形鉄筋母材の規格引張強さの荷重を受けても損傷しない性能を有し、「ネジコン定着工法 設計指針」によって設計されるネジコン定着金物を用いた異形鉄筋の定着部は、設計で保証すべき長期荷重時、短期荷重時および終局耐力時の要求性能を有すると判断される。

呼び名 db	定着板径 D1 (mm)	胴部径 D2 (mm)	定着板厚 t (mm)	胴部 L1 (mm)	全長 L (mm)
D19	50	34	7	38	48
D22	55	38	8	47	58
D25	65	43	9	46	58
D29	75	48	10	50	63
D32	80	53	11	54	68
D35	90	57	13	57	73
D38	95	61	15	60	78
D41	100	66	16	64	83



図 1 定着金物の形状



写真 1 ト形接合部配筋（側面）

【本技術の問合せ先】

株式会社神戸製鋼所 担当者：三谷
〒141-8688 東京都品川区北品川 5-9-12

E-mail：mitani.yoshihiro@kobelco.com
TEL：03-5739-6251 FAX：03-5739-6936